

やっぺす通信 Vol.24

やっぺす通信とは「よこはま型若者自立塾」による石巻復興支援プロジェクト【うんめえもん市】の活動や石巻の現状、若者支援の活動報告をお伝えしています。石巻のおいしいお弁当を食べながら、遠く東北の地で頑張っている若者達に想いを寄せていただくと嬉しいです。今月もおいしいもの満載でお届けします～。

2013.11.9 発行

やっぺす通信発行元

・NPO 法人ヒューマンフェロウシップ

・うんめえもん市

www.k2-inter.com/ishinomaki

Tel:045-762-1435 (寛知・田上)

うんめえもん応援団 応援ファイル No.7

【意志有れば道あり】

横浜市議員・南区 遊佐 大輔

初めての横浜市議員選挙を1ヶ月後に控えた2011年3月11日、それは突然やってきました。いつものように朝は駅に立ち、日中は戸別訪問をしていましたが、この日はたまたま打ち合わせのため事務所に戻っていました。14時46分、必死で自分の体を支え、お手伝いに来てくれたボランティアの方々と肩を寄せ合い揺れが静まるのを待ちました。同時に、外回りをしている妻の安否と家族の無事、たくさんの方々の支援者のこと、そして宮城に住む親戚のことが頭をよぎりました。

被災地に行きたい気持ちを抑え、「まずは被害の少なかった地域が決められたことをきちんと進め、地域の代弁者を決めようとして被災地に行く、地元の声が届く」と自分に言い聞かせ、初めての選挙戦に臨みました。1ヶ月後、当選させていたいた私は、地元でのご挨拶回りを一区切りさせ、5月の初登壇までの時間を第二の故郷・宮城を訪れる機会をいただきました。目で見て、耳で聞いて、鼻で嗅いできた風景は、それまで伝え聞いたものとはまったく違っていました。

横浜に戻り、早速二つのことに取り組みます。一つは放射線測定です。当時、横浜がどれだけ放射線被害を受けているのか、基本となるデータがありませんでした。そこで月に1回、市内の小中学校を訪れている学校薬剤師会の方々に放射線測定依頼の要請をしたところ快く協力くださり、結果的に予定より約9ヶ月も早く全校の測定を完了することができました。もう一つは募金活動です。後援会の理解もあって、長く後方支援させていたために継続して募金をしていこう決めました。そして、行きたいところへ行けない方のためにも必ず直接届けようになりました。お札に向替したり、振り込めたりもしません。そのままの状態です。現地ではレンタカーを借りて自ら運転して移動します。初めてK2スタッフの方にお会いしたのもそうした活動の延長線上でのことでした。

温かく迎えてくださったK2の皆さんからは、お会いするたびに新たな発見を頂き感謝の念に堪えません。石巻や横浜での活動のこと、若者支援に対する想いなど、やりがいを見つけて働く若者たちや現地の方々とのお話は、どれも忘れられません。職業人セミナーで出会った若者たち、地元南区役所での「うんめえもん市」の開催などを通じて交流を深めさせていただけること、訪れるたびに少しずつ被災地の町並みが回復してくるのを感じ、一方で、震災から2年半が経過した今、心に負った傷の大きさも改めて痛感しています。私は大学在学中、家業の閉鎖によって勉学を断念せざるを得ませんでした。住み込みで民間のごみ工場に勤め、どうやったら明日食べられるかのみを考えて仕事をしました。本社勤務に異動となり、会社が応援していた衆議院議員と偶然知り合い、その方の姿勢を見て、それまで政治にまったく興味もなかった私の心は動かし、秘書として採用していただきました。努力は裏切らない、努力していればきっと誰かが見てくれるのだと信じてやみません。人生の岐路に立たされている多くの若者たちが自らの意志と決断によって自分の道を切り開いていくために、微力ですがこれからもK2スタッフの皆さん、若者たち、被災地に応援させていただきます。一日も早い、本当の意味での「復旧・復興」をめざして…。

●遊佐さんの紹介

K2ハウス石巻に来てくださった事がきっかけで、石巻復興支援バザールうんめえもん市の各イベントの開催にご尽力くださり、K2 職業人セミナーでの講師をして下さったりと、石巻と横浜の両方でずっとご支援頂いています。

石巻からの産地直送便

現在、うんめえもん市産直プロジェクトでの人気商品である、無農薬25年のササニシキを育てている(株)田尻むしの木村さんに、今回はインタビューを行いました。

- Q 無農薬、ササニシキにこだわる理由は？
- A しっかり手をかけて育てた本当に美味しいお米を食べてもらいたいという思いからです。また一番前は東のコシヒカリ、西のササニシキだったが、現在日本全国コシヒカリが主流になっています。宮城県石巻市内でもササニシキ農家が減っていく中で、ササニシキの美味しさを知ってほしいからです。
- Q ササニシキの美味しさは？
- A ササニシキはさっぱりしている米なので、魚や寿司などには相性抜群です。
- Q 法人化したのはなぜですか？
- A 震災前2010年に法人化したのですが、将来を見通して木村家だけで米を作るのではなく、志のある若者たちを受け入れて一緒にやりたいと思ったからです。
- Q 将来を見据えてという意味は？
- A 現在全国各地でも地方都市、農村が衰退していています。石巻も例外ではなく、震災前からの課題でした。農村を活性化させるには大規模農業ではなく小規模農業が必要と感じています。大型スーパーが出来て確かに便利にはなりましたが、地域の活性化には繋がらない。いくら便利でも高齢の方には車で行かなければいけないなど交通面とか不便なこともあったりします。大産産ではなく、お金でもなく、農家の人たちが作物を作る喜びや食べてもらって美味しいと言ってくれるお客さんと顔の見える関係を大切にやってきた方が多く、小規模農業でそれぞれ自分の育てた米や野菜を地域で販売していくことがその地域の活性化に繋がっていくと思っています。小規模農業で若者たちの雇用の場の創出をし、町を活性化させる。地場産業を成り立たせることで石巻を盛り上げていくという意味です。(木村さんのところでは現在2名の20代前半の若者が働いています。)
- Q 木村さんの田んぼは内地にありますか、震災の被害はあったのでしょうか？
- A 直接的な被害は地盤沈下くらいでしたが、原発の風評被害で顧客が半分減りました。放射線測定も行い米は勿論土も大丈夫なのですが、他の地域では9割減の所もあります。被災地石巻が、農業(漁業)から溢れる場を増やして新しい元気な石巻を築いていきたいと思っています。よろしくお願ひします!!



●株式会社田尻むし 木村 純さん プロフィール

昭和44年生まれ 石巻出身
米農家で生まれ幼い頃から家業を継ぐように言われて育ったが、嫌で仙台に出て物流関係の仕事に就く。10年前に結婚をきっかけに父の代から継いでいる無農薬米ササニシキの生産をしている。

クローズアップ ISHINOMAKI VOL.9

～石巻現地スタッフからの便り～

こんにちは。K2石巻からりゅうりゅうです。寒くなってきましたね。石巻ではもうストーブを出し、先日K2石巻の共同生活寮も東北の冬に備えて機織替えをしました。そしていよいよ待ちに待った杜鰈のシーズンに入りました！今年の杜鰈は去年と比べると身入りもよくとても美味しい！！一足先にご馳走いただきました！！さて、イベントが目白押しのお秋ですが今年の石巻は特別です。何が特別かというところ、ちょうど今年が慶長遣欧使節がサンファン・パウティスタ号で出航してから400周年からです。みなさんも一度は名前を聞いたことがあるであろう、かの有名な東北の武将、伊達正宗が山台藩士支倉常長を外交使節に任命し、山台藩内に滞在していたスペイン人提督セバ스티アン・ビスカイノに協力させて建造したサン・ファン・パウティスタ号で1613年10月28日に「日本初の対ヨーロッパ外交交渉」に出たのです。驚く事に、実はサンファン号が出航する前、1611年12月2日に起こった慶長三陸地震による津波は最高で20m前後の高さであったと想定されるぐらいの大地震が発生していました。その後サンファン号は石巻から世界に向けて出航しました。なかなか進まない復興に向けて宮城県民の期待を背負い、先日行われた宮城県知事選では、村井知事が引き続き当選しました。最近では沿岸部の被災地域に残っていた横倒れになったビルなどをそのまま残すかそれとも撤去するかということが議論されており、その建物が残っている町の方々は残すべきだという方と、見ると思いついてしまから早く撤去してほしいという方と意見が真っ二つに割れていました。町としては自治体自体に財力がいないために残したくとも県や国に協力してもらわないと残すことができないとのことでした。

村井知事は国の方針が定まってその上で県としてどうできるかと見解を述べていました。「震災を忘れてください」はもう通用しないと感ずるし、自分もそんなことは言いたくない。そうではなくて「震災から3年経って石巻、被災地はこう変わりました！ぜひ見に来てください！」にしないとダメなんです。津波の被害で残り3件となってしまった自分が住んでいた蛤浜を再生しようとして頑張る亀山貴一さん(ゆりちゃんのこと)が言っていました。でも率直に言うところの蛤浜もそうですが、被災地はみなさんの協力なしでは変わっていきません。「忘れないこと」から「癒えること」そして「進化すること」につながる。東日本大震災から3年目。400年前の様にK2グループも若者たちと地元の人たちとみなさんと一緒にこの石巻で、新しい石巻を作りたいと思っています。是非うんめえもん市を通じてその一員に!!

NPO 法人ヒューマンフェロウシップ 事務局員・石巻スタッフ 福島 竜

うんめえもん市 今月のオススメ

今回はうんめえもん市でも売れ筋商品の「乾燥千切り茗わかめ」のレシピをご紹介します。

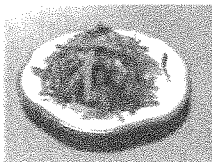


【千切り茗わかめのサラダ】材料(2人分)

- ・乾燥千切り茗わかめ: 10g ・大根: 5cm
- ・人参: 2cm ・ハム: 1～2枚 (お好みで)
- ・しょうゆ: 大さじ1と1/2 * 酢: 大さじ1
- ・砂糖: 大さじ1 * ごま油: 小さじ1
- ・山椒: 適量

作り方

- 1) 乾燥茗わかめを水で戻す(約10分)
- 2) 大根と人参とハムを千切りにする
- 3) *をすべてあわせてドレッシングを作る
- 4) 1)と2)をあわせる
- 5) 4)に3)のドレッシングをかけ、お好みで山椒をかけ完成



*ドレッシングは市販のものやポン酢でも構いません
*マヨネーズにしょうゆをちょっと加えたものをドレッシングにしてもおいしい!

11・12月うんめえもん市の開催スケジュール

- ◆11月の開催予定日 ※予定は変更される事があります 詳しくは事務局までお問い合わせ下さい
- ・11日(月) 金沢区役所 11:00～14:00
 - ・18日(月) 横浜市役所(本庁舎1階) 11:00～14:00
 - ・23日(土) 潮田公園防災フェスタ 10:00～15:00
 - ・25日(月) 都筑区役所 11:00～16:00
 - ・27日(水) 瀬谷区役所 11:00～14:00
 - ・29日(金) 茶区役所 11:00～14:00
- ◆12月の開催予定日
- ・4日(水) 旭区役所 11:00～15:00
 - ・9日(月) 金沢区役所 11:00～14:00
 - ・11日(水) 瀬谷区役所 11:00～14:00
 - ・14日(土) にこまるハニーカフェ Boom Boom 10:00～14:00
 - ・16日(月) 横浜市役所 11:00～14:00
 - ・19日(木) 都筑区役所 11:00～16:00
 - ・25日(水) 鶴見区役所 11:00～14:00
 - ・27日(金) 茶区役所 11:00～14:00